

# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島西部SCプロジェクト	階数	地上5F,地下1F
建設地	広島県広島市西区扇二丁目1番1号	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	10,600 人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年4月 予定	評価の実施日	2015年12月24日
敷地面積	54,844 m <sup>2</sup>	作成者	土井原毅
建築面積	32,877 m <sup>2</sup>	確認日	2015年12月24日
延床面積	129,249 m <sup>2</sup>	確認者	土井原毅



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 68% (125 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 68% (125 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 68% (125 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Qのスコア = 3.1**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

#### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.7**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 2.3	スコア = 3.0
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 売場上部に駐車場階を設けることで日射負荷を抑制している。// 高効率熱源・最適制御を採用。/ 中央監視設備により、建物管理者の運用改善を補助。/ 節水型器具の採用、躯体と仕上材が容易に分離可能とすることにより再利用性を高める、等により省資源化を図る。 路盤材、内装材にリサイクル材を活用する。/ 高効率熱源・最適制御を採用し、ランニングエネルギーの抑制を図る。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 敷地面積10%以上の緑化。/ 十分な駐車台数、駐輪台数確保による交通負荷抑制。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 屋外露出ダクトはガルバリウム鋼板製とし、ドレン抜きを設ける。/ 設備配線・配管は専用のシャフトに集約し、更新性に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される